

檜山管内社会教育主事会主催事業

『ひやまをつなごう』

檜山管内社会教育主事会
乙部町教育委員会社会教育係
南部 涼

発表内容

- ▶ 1. 取組の背景
- ▶ 2. 事業概要
- ▶ 3. 参加者の様子
- ▶ 4. 成果と課題
- ▶ 5. まとめ

発表内容に移る前に・・・

檜山管内の紹介

檜山管内は、北海道の南西部、渡島半島の日本海側に位置し、飛び地状になっており、南部4町、北部2町、せたな町沖沖合27kmにある離島の奥尻町の全7町で構成されています。

総面積は全道の3.1%で14総合振興局・振興局で最も面積が小さく、管内人口が約3万人と最も人口が少ない地域です。

引用元 檜山振興局地域創生部 檜山の概況2025より



1. 取組の背景

研修テーマ

持続可能な社会の実現に向け、地域の可能性を引き出す
学びをつくる社会教育のあり方

檜山管内社会教育主事会サブテーマ

ひやまをつなごう！垣根を越えて手を取り合うそれぞれの
ウェルビーイングへ・・・

1. 取組の背景

【背景】

2024年発表の全国自治体「持続可能性」調査で、檜山管内は全町が消滅可能性自治体として指定されている。

人口減少が進む中、持続可能な事業を各町だけの取組にとらわれず、オール檜山として持続可能な事業を青少年に提供することや、檜山としてのつながりづくりを促進する必要がある。

2.事業概要

【期日】

2025年7月29日（火）・30日（水）

【場所】

檜山南部4町（江差町、厚沢部町、上ノ国町）

【対象】

管内在住の中学生または高校生

2.事業概要

【学習目標】

- (1) 年齢や、住んでいる町も異なる参加者同士の交流を通して、**他者理解力及び自己理解力の向上**を図る。
- (2) 参加者同士の交流を通して、他町の良さや、普段気づかない**故郷の良さを再発見**するきっかけづくりを図るとともに、次世代の**地域の担い手**の素地を養う。

2.事業概要

【学習の流れ】

- (1) 自分の町紹介（事前学習）
- (2) 地域課題を洗い出す（事前学習）
- (3) リーダー（担い手）についての講義（当日学習）
- (4) 自分の住む町が、どうすれば将来住みたくなるような町になるのか？（当日学習）
- (5) 地域課題について取り組んでみたいもの（事後学習）
リーダーとして今後どのように活動したいか

2.事業概要

【当日の流れ 1日目】

- 史跡見学（上ノ国町）
- 講義①「リーダーについて」
- 講義②「地域課題について」
- 野外炊事・宿泊体験（ネイパル森）









2.事業概要

【当日の流れ 2日目】

- パークゴルフ体験（厚沢部町）
- シラフラ見学（乙部町）
- いにしえスタンプラリー※（江差町）

※マリン体験（サップなど）を予定していたが津波警報が出されたため、急遽予定変更した。











3.参加者の様子

【中高生】

- 事前学習の効果
- 意識の向上
(地域への関心、課題意識など)

同事業「ひやまをつなごう」講義②

1 あなたが特に気に入っている町の部分はどこですか。

(例: 自然、文化、イベント)

差 夕日がきれい 祭りが楽しい 海 街並み
 金 秋祭り スキー場 学校給食
 沢部 自然が下く 祭りが下のいい
 の国 海がきれい 祭りが楽しい

食べ物
 ようかん
 だんご
 コロッケ

2 他の町に住んでいる人に、自分の町を紹介したいと思うとき、どんなところを紹介しますか。

- ① 姥神大神宮渡御祭 開陽丸
- ② 清流日本一の「後志利別川」 今金界川
- ③ レノの森にひばい、ふらばあの手がぬ、メグインがぬ
- ④ アイヌと和人が共生していた 勝山館

5 どうすれば住みたいまちになるか グループで話をしてまとめてみよう!

SNSで街の良いところを発信!! 市街地にも公園などを 楽しめるイベントをもっと増やしていく!
 若者に需要のある施設をつくる → すぐ住みたい 働く場所をもっと増やす
 できることから取り組んでいく! 思える街を!! 未来を見すえた 長期間の人口増加計画
 ひとつずつ課題をつぶす → 次の課題をみつけるのルーツを!!

3 あなたが住む町で、改善が必要だと感じる問題は何ですか。

- ① 使われていない建物が。 少子高齢化 リバーサイド 移住先をつくる
- ② 人口減少 娯楽施設がない 人が少ない上に 高齢者が多い。 働くお金を沢山 使う世代が少ない。
- ③ 人口減少 バスが少ない お金のまわりが 悪い。
- ④ 観光客が少ない 娯楽施設がない 移動手段が少ない。 高速道路がない。

④ 病院が
 い...

4 それらの問題はなぜ発生していると思いますか。

- ① 建物をこわすお金がない。 子どもを産む場所 あなば... PC-シッターなど
- ② 進学先・就職先が少なく、若い世代が都市部へ転居。 出生率が低い。 → 子どもを産む育てることに不安が。
子育てのサポートを 時間や金銭面での余裕がない。
手厚くしていく!!
- ③ バスに乗る人が少ない → バスが要らなくなる?
がソリ年代のお母さんに、 たけど... バスが必要な人が困る...
乗る人がいないとダメになる...
- ④ 有名な人を呼ぶと、観光客が増えるかも!!
色々な世代が喜ぶ人が来てほしい!!

合同事業「ひやまをつなごう」講義②

1 あなたが特に気に入っている町の部分はどこですか。

(例: 自然、文化、イベント)

- ① 人と地域とのつながり
- ② 自然豊かで美味しいものがある
- ③ イベント
- ④ 町内みんなあいさつ
- ⑤ すてきなかそを受け入れる
- ⑥ 公共施設がきれい
- ⑦ もんじゃから見える夕日きれい
- ⑧ ブナ林があって空気きれい
- ⑨ 海がきれい
- ⑩ ママがいない

2 他の町に住んでいる人に、自分の町を紹介したいと思うとき、どんなところを紹介しますか。

新鮮な食べ物、景色、歴史
自然豊かでイベントが楽しい
イベントを通じて特産品を紹介しているところや
過疎を受け入れているところ
北海道最古の歴史がある町
海がきれいで海産物が美味しい

5 どうすれば住みたいまちになるか グループで話をしてみよう！
いったん他の町に住んでみて、その町の魅力と地域(今住んでいる町)の魅力を
合体させる！

3 あなたが住む町で、改善が必要だと感じる問題は何ですか。

交通手段が少ない・空き屋がタライ・少子高齢化ヤバい！
公共施設が少ない・海洋ゴミがタライ
地域の魅力をもっとだいたんに公開するべき
人口が少ない
美容室やクリーニング屋さんがない
外で遊ぶ場所が少ない

4 それらの問題はなぜ発生していると思いますか。

子どもが生まれても地元から出てしまう
町から人が出てしまう
他の町の方が魅力的だから(便利さ)
都会にあこがれる人がタライ
住んでる町に行きたい学校や
仕事ができる場所がない
森林がタライ

クマガヤバル!

3.参加者の様子

(参加前と参加後で地域のことについて意識が変わったこと)

- 地域全体の課題について考えるようになった。
- 同じような課題を持つ町が多いと知って意識が変わった。
- 自分にできることを探そうと思った。
- 地域についてまだまだ知らないことだらけだと感じた。

3.参加者の様子

(グループで協議した地域課題についてあなたが取り組んでみたいもの)

- 景観問題 (花植えの活動に参加する)
- 地域のイベントについて、SNSで魅力を伝える
- 空き家を活用して何かをしたい
- ゴミ拾い

3.参加者の様子

(自分の住んでいる町が住みたいまちになるにはあなたならどのようにしますか?)

- 飲食チェーンやカラオケをつくる
- これからの働き手になる若者が喜ぶような施設を作りたい
- 社会福祉をしっかりとしたまちづくりをする
 - 知名度を上げる (SNSなどで発信)
 - 他の地域をよく知る、他の地域の良さを取り入れる。

3.参加者の様子

(リーダーとして今後どのように活動したいか)

- 活動にまた参加し、最終的に企画運営をする側になりたい
- リーダーとして皆を引っ張っていけるような行動をしたい
- 町の魅力をたくさん知って、広めていきたい

4.成果と課題

【運営側】

- 各町の担当者間の連携の強化（成果）
- 参加者集め
- 社会教育事業への理解の差
- 宿泊場所
- 移動時間

4.成果と課題

・各町の事業との日程調整、宿泊場所の検討等苦勞した部分も多かったが、危機管理の面や事業の準備など自分の町で新規事業を企画する際にも良い経験となった。

・みんなで一から計画し、何事もなく無事に達成できた事がすごく良かった。子供達からも参加してよかった等の意見を聞くことができ、来年も参加したいと言ってくれたことが、今回の事業の成果だと思う。今後参加した子供達が繋がりを大事に成長してもらえたら嬉しいと感じた。

5.まとめ

☆檜山管内社会教育主事会主催事業

「ひやまをつなごう」

1年目 (R7) ・ ・ 檜山南部 (上ノ国、江差、厚沢部、乙部)

2年目 (R8) ・ ・ 奥尻

3年目 (R9) ・ ・ 檜山北部 (せたな、今金)

5. まとめ

- 目的の明確化
- 地域住民との関わり
- 各町担当者間の連携

事業の横展開を図る仕組みづくり

新たな視点や切り口で地域の魅力を掘り起こす